

電気工事職種 Q & A

Q 1 : 電気工事職種 課題 1 ページ目に次のような記述があります。

6. 照明回路 (ハ) の自動点滅器については、屋外へ設置するためメタルラス壁を貫通させる。その貫通箇所のケーブル保護は P F 管 (PF16、長さ 100 mm 程度) を保護管としてもちい、移動防止策としてステップルにより 2 箇所固定する。メタルラス壁を貫通するため、P F 管を使用し、P F 管を貫通するケーブルの近い箇所をステップルで固定するのでしょうか。それとも P F 管自体をステップルで固定するのでしょうか。ステップルの個数についても必要数のみとなっているようですので確認させてください。

A 1 : ケーブルの近い箇所をステップルで固定して下さい。

Q 2 : 器具取付のための治具を用意しようと思います。

アウトレットボックス・スイッチボックス・レセプタクルなどの取り付け穴位置に印を書くための治具は A 4 サイズ 1 枚であれば使用してもかまわないということでしょうか。

A 2 : 治具の A4 サイズ (±10mm 以内) は使用可です。

Q 3 : (全般) の中で

6. 照明回路 (ハ) の自動点滅器については、屋外へ設置するためメタルラス壁を貫通させる。その貫通箇所のケーブル保護は P F 管 (PF、長さ 100mm 程度) を保護管として用い、移動防止策としてステップルにより 2 箇所固定する。と記載されています。課題図を参照すると上から 2 番目線から 50 と記述されており、単純に防護管を P F 管 100 mm に切断し、中心を 50 mm に合わせ、No.2 ステップルで固定し、その間を WF-1.6-3C を通すという作業内容でしょうか。

A 3 : P F 管の保護管 100 mm 程度を指定の位置へ固定します。固定方法は、P F 管を貫通するケーブルの近い箇所をステップルで固定して下さい。

Q 4 : アウトレットボックス、端子なしジョイントボックス、スイッチボックスの外装、及びビニルの余長は、それぞれどれくらいでしょうか。

A 4 : それぞれのボックスに応じた適切な余長を取ってもらって構いません。

Q 5 : 材料表の 35. 分電盤用木板 (W300×H200×D15 mm) 取付穴 4 ヶ所加工済みは、穴が貫通しているのでしょうか？

A 5 : 分電盤用木板は取付穴 4 ヶ所貫通しています。

Q 6 : 基本工具の例にパイプカッターがありませんが、金切りのこで金属管を切断しなければいけないのでしょうか？

A 6 : 金属管の切断にパイプカッターを使用しても構いません。

Q 7 : 課題施工図にメタルラス壁がありますが、その工事をする際に必要な材料が支給材料に含まれていないようなのですが、どのようにしたらよろしいのでしょうか。(必要材料：合成樹脂管・バインド線等)

A 7 : 公表の競技課題 全般 6. に記載されているとおり、メタルラス壁の貫通には、P F 管の保護官 100mm 程度を用い、指定の位置へ固定します。固定方法は、P F 管を貫通するケーブルの近い箇所をステップルで固定して下さい。

Q 8 : 課題施工図に金属管と金属のアウトレットボックス、金属のスイッチボックスが使用されておりますが、それぞれにボンド線を付ける必要があるのでしょうか。

A 8 : ボンド線を付ける必要はありません。

Q 9 : 課題図に示された基準点を通過する「水平基準線」と「垂直基準線」は墨だしの際にチョークラインは引かなければならないのでしょうか。課題図には、基準墨として掲載されていませんでしたので、引かなくて済むものでありましたら省略したいと考えております。

A 9 : 基準点を通過する「水平基準線」と「垂直基準線」は引いて下さい。